



## 夏休み子ども映画会のご案内

～「いじめ」をなくし、相手を思いやる心を育むために～

国連NGO横浜人権センター山梨ブランチでは、甲府市や山梨県と連携して、子ども達に豊かな人権感覚を育む一助とするため、次により「夏休み子ども映画会」を開催します。

いじめは、ときとして相手の命にもかかわる犯罪行為です。

大人が子ども達に対して「いじめはよくない」とか「相手の気持ちを思いやるように」といったことを、口でいうだけでなく、日々の行動（＝無言の教え）で示せるかどうかが大切だと思います。

これらの映画は、子どもが家族や友達とのふれあいを通じて、人を差別したりいじめたりすることの愚かしさや、お年寄りの豊かな人生経験に学ぶことの大切さなどを分かりやすく伝えてくれます。

甲府市立図書館と甲府市総合市民会館で1回ずつ以下により上映しますので、親子連れなどでぜひご覧ください。

（元のDVDは横浜人権センター山梨ブランチ（下記）にありますので、貸し出しができます。）



映画「風のかけ橋」より  
(孤独な身の上の老人(常田富士男)が子供達に自然のすばらしさを伝える)

日 時	上 映 場 所	内 容
8月20日(土)	甲府市城東1-12-33 甲府市立図書館	「風のかけ橋」(実写・41分) (1回目) 10:30~11:11 (2回目) 13:30~14:11
9月 3日(土)	甲府市 青沼3-5-44 甲府市総合市民会館	「二匹の猫と元気な家族」(アニメ・25分) (1回目) 11:20~11:45 (2回目) 14:20~14:45

### ＜映画のあらまし＞

「風のかけはし」(実写映画 企画・制作：井之上企画、国連NGO横浜国際人権センター)

小学生の良太は、亡くなった父の代わりに家業（魚屋）を営む母親と二人暮らし。学校でいじめに会いながらも、それにめげずに優しい心をもち前向きに生きている。良太は、公園で一人の老人（役：常田富士男氏）と知り合い、ザリガニの取り方から始まり様々な生き方の知恵を学ぶ。

ついには、良太だけでなく、友達やいじめっ子達も一緒に、その老人から昆虫の取り方や自然のすばらしさ等を教わり、人を差別したりいじめたりすることの愚かしさも学び、仲直りする。

「二匹の猫と元気な家族」(アニメ 企画：東京都教育委員会、制作：読売映画社、協力：井之上企画等)

相手のこともよく知らずに、外見や意見や行動などがみんなと“ちょっと違う”だけで、避けたり、いじめたり、偏見を持ったりすることはないだろうか。

この映画は、神戸で大震災にあったある家族が東京に引っ越してきて、それぞれが新しい生活や、身近に起こるいじめや差別にとまどいながらも、それを乗り越えてゆく姿をユーモア豊かに描いている。

〒400-0831 甲府市上町601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房1階事務室

国連NGO横浜国際人権センター・山梨ブランチ (代表・横山 隆史)

(TEL・055-243-8563, fax・055-243-8564)